



橋の子だより

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.10 文責：教頭

須坂市立小山小学校

「カラスと水さし」 (2月7日 校長講話より)

月曜日は大雪になりましたね。グラウンドには、大きなかまくらが2つできていたり、たくさん雪だるまが作られたりして、みんな楽しく雪遊びをしています。交通安全にはくれぐれも気をつけて、屋根からの落雪にも注意してください。春はもうすぐです。

今日は「カラスと水さし」というお話をします。聞いたことがある人はいますか。想像力を働かせて聞いてください。

カラスは喉がカラカラにかわいたので、水はないかと探していますと、ふと、水差しを見つけました。水差しには水が底の方に10cmくらいたまっていました。

カラスは、さっそく水を飲もうと長くちばしを水差しに入れましたが、水までくちばしが届きません。

カラスは、どうしたらこの水が飲めるかと、いろいろ考えてみました。カラスは水差しを傾ければ、くちばしが水まで届くのではないかと考えました。

水差しをかたむけ、水を飲もうとしましたが、うまくいきません。カラスは、のどがカラカラでたまらなくなりました。

「目の前に水があるというのに、飲めないなんて悔しい。でもぜったいに、飲んでやる」

カラスは、あきらめずに、何か良い方法がないか考えました。

みなさんならどういう方法を考えますか？

(子ども) 「何かを水に入れる」

ふと、地面をみると、小石がたくさんありました。

みなさんなら小石をどうつかいますか？

(子ども) 「水さしに小石を入れる。いっぱい入れると水が上にくる」

「そうだ、この小石を水差しに入れてみよう」

カラスは、小石をくわえて水差しに入れ始めました。何度も何度も繰り返すうちに、水の表面が上がってくるではありませんか。

カラスはうれしくなって、小石をせっせ、せっせと入れました。そして、とうとうたっぷりの水を飲むことができました。

カラスのことをどう思いますか？

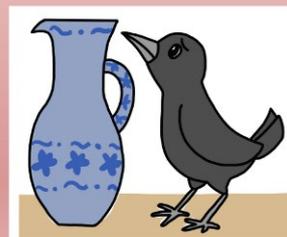
すごいところはどこですか？

(子ども) 「いろいろなことを考えてやったこと」

(子ども) 「あきらめずにやり続けたこと」

おしまい。(「福娘童話集」掲載許可済み)

カラスがのどがカラカラにかわいたので、水はないかとさがしていると、ふと、水差しを見つけました。



長くちばしを水差しに入れましたが、水までくちばしが届きません。

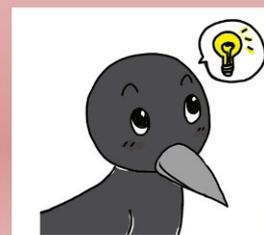
水差しをかたむけ、水を飲もうとしましたが、うまくいきません。カラスは、のどがカラカラでたまらなくなりました。「目の前に水があるというのに、飲めないなんて悔しい。でもぜったいに、飲んでやる」カラスは、あきらめずに、何か良い方法がないか考えました。



みなさんならどういう方法を考えますか？

ふと、地面をみると、小石がたくさんありました。

みなさんなら小石をどうつかいますか？



小石をせっせ、せっせと入れました。

とうとうたっぷりの水を飲むことができました。



カラスのことをどう思いますか？

カラスは、どうしたら水が飲めるかを考えて、いろいろやってみました。水差しを傾けて飲めるか、だめでした。でも、小石を見てひらめきました。そして、試してみました。水が上がってきて飲めそうだと分かりました。飲めるという見通しがつきました。だからどんどん頑張れたのですね。

カラスは、私たちに大切なことを教えてくれています。

「カラスが教えてくれたこと」

- 何かを成功するためには、いろいろな方法を考えて考えて、考え抜いていけば、気づきや思いつき、ひらめきが生まれます。
- 解決できそうな良い考えが浮かんだら、自分でやってみます。わずかな一歩でも着実に目標に近づいていきます。
- 工夫をこらして挑戦することが成功への近道です。

そうやっていると考える力がどんどん伸びてきます。
毎日の生活や勉強の中でぜひやってみてください。

校長先生の問いかけに、たくさんの方が手をあげて発言していましたね。



<保護者・地域の皆様へ>

大谷選手寄贈グローブが届きました

1月24日（水）に大谷翔平選手寄贈グローブのお披露目会をしました。校長先生が大谷選手からのメッセージを読み上げたり、代表児童2名がキャッチボールをしたりしました。最後に校長先生の「野球やろうぜ！」のかけ声にあわせて「おー！」と手をあげて記念写真を撮りました。今週で各クラスに回し終わったので、来週から授業や遊びで使っていきます。



令和5年度の職員の非違行為防止研修について

職員会や研修の時間を使って、職員の非違行為防止研修を積み重ねて参りました。資料や過去の事例に学びながら自分自身の行動を振り返ることや、支え合い批正し合えるように同僚性を高めることを目標として行ってきました。例えば、暴言についてセルフチェックシートやペアワークを用いて自分の言動を振り返ったり、「こんなときどうする？」と各自考えてからスピード違反の過去の事例を読んで感想を伝え合ったりしました。非違行為防止の標語づくりでは、「**こ**どもたち **や**っぱりあなたを **ま**っている **ふ**しょうじ撲滅 **う**むな免職」などを作成し、職員室に掲示しました。今後も非違行為防止研修を行っていきます。